アクションプランについて

資料１－１

(1) コンセプト

市民が集い交流し、創造力や文化、歴史、産業を育む　全く新しい文化芸術の創造・発信拠点

（市民が集い交流する）

市民が集う新たな憩いの場として、誰もが気軽にアートに触れ、人と人とをつなぎ、多様な価値観が共生共栄する美術館とします。

（創造力や文化、歴史、産業を育む）

本市発展の礎を築いた先人から引き継いだ作品の展示を通じて、市域の文化や歴史、産業を学び再発見させる美術館とします。また、子どもたちが本物のアートに触れ、挑戦する精神や創造性を育む美術館とします。

（全く新しい文化芸術の創造・発信拠点）

ジャンルにこだわらない展示を通じて感性を刺激し、未来を担う人材を育むなど、アートの力でこのまちの更なる発展に寄与する美術館とします。

(2) ミッション

コンセプトを達成するため、大きく３つのミッションを掲げて、目標の達成に向けて努力します。

①継承

市内の収集家が所蔵する貴重な美術作品や本市ゆかりの作品などを適切な管理のもとに収集、保存するとともに、それらの作品と本市の文化、歴史、産業との関係を調査研究し、展示することにより、ものづくりの伝統とチャレンジ精神を次世代に継承します。

②共生

障害の有無、経済状況、年齢、性別、国籍などにかかわらず、多様な人々を受け入れ、インクルーシブアートなどを活かし、誰もが気軽にアートに触れられるアクセシビリティに優れた施設運営に努め、共生社会の実現に向けて取り組みます。

③育成

「観る」「学ぶ」「集い交流する」体験で本物に触れることをきっかけに、アートの視点を通して、豊かな創造力や思考力、コミュニケーション能力といった様々な力を培い、どのような事にもチャレンジし、多方面で力を発揮する未来を担う人材を育成します。

(3) アクションプラン

ミッションを達成するための手段として、５つのアクションプランを実施します。

①川口市ゆかりの作品等の市内外に対する発信

市内の収集家が所蔵する貴重な作品、本市や埼玉県ゆかりの作品を収集、保存、研究し、展示することで、作品とその背景にある歴史や文化などを、市内外に広く発信します。

②多くの市民がいつでも何度でも訪れたくなる企画

既存の表現方法にとらわれず、幅広い美術領域を対象に展示を行うなど、多くの市民が美術に興味を持ち、文化芸術への入り口となる企画を実施します。

③アクセシビリティにも配慮した施設運営

障害者や高齢者、乳幼児とその保護者等に配慮した設備の設置や展示物の高さの調整に努めるなど、誰もが気軽に美術館に訪れ、ストレスなく美術作品を鑑賞できる館内の動線や展示方法などの環境を整えた施設運営を行います。

④子ども達の創造力やチャレンジ精神の養成

市内の学校・幼稚園・保育所等と連携し、各校単位での観覧だけでなく、多様な形態で子ども達が美術に親しめる企画を実施するなど、本物の作品に触れることをきっかけに、子ども達の創造力や思考力を育てるとともに、美術に限らず何事にも自分なりの形でチャレンジする意欲を高揚させる取り組みを実施します。

⑤施設間の効果的連携による地域活性化

隣接する川口総合文化センター・リリアや川口西公園、川口市立アートギャラリー・アトリアなどと相互に連携することで、美術、音楽等を一体的に捉えた文化芸術の発信を行うとともに、その他の市内の施設、団体、企業などと協力関係を築き、地域活性化を推進します。